

りすす倶楽部

2022・2023年
12・1月合併号
第307号

新年のご挨拶

NPOりすシステム代表 杉山 歩

お健やかに新年をお迎えのことと存じます。

コロナ禍も3年、マスクをしておの外に出にもすつかり慣れ、手洗い、うがい、消毒は当たり前、ワクチン接種も5回目……なのに、なかなか終わりが見えません。本格的にウイルスと共存する生活となりました。

約2年前から始動している地域密着型パートナー制度は、少しずつ進んでいます。利用者の皆さまからご紹介いただいた方、スタッフからの紹介者、地域で活躍している事業者の方などが、研修を受け、実際のサポートに研修のため同行させていただいています。

私も、様々な場面でパートナー研修中の方に接する機会があります。皆さまとても熱心に、そして真剣にりすシステムでの活動に携わってくださいています。

「研修中です」という方が皆さまのところへ伺いましたら、早く一人前になれるよう、ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

また、「この人にパートナーになってもらいたい！」とご推薦くださる方がいらつしやいましたら、ぜひご紹介ください。

今後さらにパートナーの皆さんが増え、全国津々浦々に拠点ができることを今年の目標として活動して行きたいと思つていきます。

本年10月、りすシステムは発足から30年という節目を迎えます。10周年、20周年には記念イベントを開催し、皆さまと一緒に祝いすることができました。今年はコロナ禍ですので、集まつていただくイベントは自粛せざるを得ないと思つておりますが、何か記念になることができればと考えています。

「懇親会等をつつ再開するのですか？」というお問い合わせも増えていきます。コロナウイルスによる死亡者が減少せず、医療が逼迫している現状で、集まつて何かをすることに危険はないのかは悩ましいところですが、なんとか春頃から少しずつ何か始めたいと思つていきます。まずは、少人数でのお茶会などでしょうか。屋外でのマスク着用は不要と言われていますが、なんとなく不安でマスクを手放せません。感染対策を充分行った上で、できることを考えて行きたいと思つていきます。本年が皆さまにとって、良い年となりますようお祈りいたします。



雪民家

各地を訪ね歩き描いて来た茅葺民家。時の流れにあらがえず、急速に姿を消している。新年を迎えて楽しんだ雪の景色も今年はない。描き集めた絵画を開くと、偲び泣く冬の風を聞きながら着彩したあの雪民家も忘却の彼方に去ってしまった。

弁護士 福井大海

草木のめぐみの中で

東京大学名誉教授

谷田貝 光克

新年を迎え皆様にはお健やかに過ごしのこ
とと存じます。

私は地球に恩返しのため森づくり「大分薬用樹木
園」の設園に関わらせていただき、またニュー
ジーランドでの散骨の際にも皆様とご一緒させ
ていただいております。

コロナ騒動の影響もあり最近では薬用樹木園に
もお伺いしていませんが、地球に恩返しのため森づ
くりについて「りす倶楽部」に掲載される樹木
たちのため成長ぶりと森づくりを通しての
環境活動や里山保全活動が展開されていること
を拝見し、地元の人たちの積極的な活動に感動
しております。そして、このような活動の仲立
ちをしている植物の働きに改めて敬服する次第
です。

私たちは地球上に生まれてこのかた常に草木
のめぐみの中で暮らしてきました。草木は食料
となり、薬となり、寒さをしのぐ衣類となり、

そして住まいを造る材料にもなってきたので
す。そんな大きな役割を担ってきた草木の存在
をおろそかにしてはいないでしょうか。

近年の画期的な科学技術の進歩によって石油
等化石資源から多くのものが合成され、物資は
世にあふれ、くらしは楽になりました。しかし、
その見返りとして地球温暖化、環境破壊が進ん
でいます。世界の衆知を集めてその対策に乗り
出しているのが現状です。

地球温暖化は化石資源の使用による温室効果
ガスの二酸化炭素の増大や二酸化炭素を吸収し
て育つ森林の過度の伐採が原因の1つとされて
います。

それはヒトの考え、立場を変えて樹木の身に
なつて考えてみましょう、温暖化は無計画な過
度の伐採による略奪の結果、引き起こされたも
のです。いふなれば物言わぬ樹木からの悲鳴、
そして警鐘なのです。大きな被害につながるこ



千葉 吉四六村で炭焼中の谷田貝先生

とを教えてください。私たちはいまこ
そ物言わぬ彼らの言葉に耳を傾けねばなりませ
ん。そして彼らの考えをくみ取り、意思を尊重
し彼らと共に生きていくことが求められている
のです。

野に生ふる草にも物を言はせばや

涙もあらむ歌もあるらむ

与謝野鉄幹

木は用材として家の材料となり、多様な木製
品として利用されます。木造家屋や木製品を多
く利用することは炭素の貯留になり、温暖化防
止に役立ちます。適度な利用は健全な環境維持
にも役立ちます。「木は伐らなければ育たない」

と思うのです。一見矛盾したように思うかもしれませんが、伐った後に新たに植林をする、そして新たな林を育成することです。それで森林は常に若さを保ち活気づきます。そして「伐った木を利用しなければ山に元気は戻らない」と思うのです。上手に無駄なく利用してこそ長年かけて成長し続けてきた木への恩返しができるのです。

最近は大規模バイオマス発電の原料としての活用も拡大しつつあります。しかしその利用にしても伐採によって自然環境が破壊されるのでは意味がありません。常に適度な伐採、適度な利用が求められるでしょう。

政府は昨年末に「食料安全確保強化政策大綱」を策定、公表しました。作物国産化に数値目標をつけて、海外からの輸入依存度の高い農作物の自給率を上げるものです。また、化学肥料の使用量を20%低減するとし肥料の国産化も目的としています。肥料は下水汚泥を利用します。利用率の低い現状の下水汚泥を脱水、発酵させて肥料とする案です。現代の科学技術の見せ所となるでしょう。

わが国の食料自給率は38%（カロリーベース）、これは100%を超える先進国が数か国

ある中で極めて低い数値です。国産品でもその飼料、肥料の原料は輸入に頼っているものが多いためです。農作物の中にはわが国では栽培できないものもあり、そのようなものは輸入に頼らざるを得ませんが、工夫、改善によって国内でできるものは国産化が望ましいはずで、生産効率や価格の面で輸入に頼っている現状を見直し少しの不利な面があっても国内生産を進めるべきでしょう。いつ、海外からのやり取りが中断されるとも限りません。

わが国の年間降水量は平均1700mm、1000mm以下の国や半砂漠化が進んでいる国が多い中でわが国は雨量に恵まれた国なので、温暖湿潤なわが国は植物が育つには適しています。野菜、果実、肉、乳製品、木材、これらはすべて水によって育てられます。これらを輸入に頼っているわが国は実は水の大量輸入国なのです。日本が水の大量輸入を抑え、自国のものを利用することで海外の畑を潤し、食料難で困っている国の人たちの助けになるのかもしれないのです。島国の日本ですが、わが国だけの問題ではなく、実はわが国の田や畑は世界につながっているのです。

21世紀は水の世紀とも言われています。水の

利用は今後注目されることでしょう。SDGsでも「安全な水とトイレを世界中に」と目標を立てています。

カーボンニュートラルという言葉が世の中に広く浸透してきています。温暖化を抑制するために今や欠かせないものとなっています。温暖化は今の世で解決しなければなりません。負の財産を次世代において行くことは許されません。二酸化炭素を吸って成長する植物はカーボンニュートラルの立役者です。これからは今までも増して植物との共生の時代になることでしょうか。それはヒトが物言わぬ植物の行動をいかに理解できるかにかかっています。そして謙虚な気持ちで草木とともに、草木のめぐみの中で生きる、そんな時代になることでしょうか。

地球のみどりよ、いつまでも。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



公的年金のやさしいお話⑥

1人の人に2つ以上の年金を
受ける権利ができたとき

株式会社ジエイ・サポート 代表取締役
社会保険労務士原令子事務所 所長

原 令子

一年で最も寒い大寒の時節に入っていますが、皆さまお元気で過ごしてでしょうか？ 雪国に住まいの方は雪との戦いで大変な思いをしていらっしゃるのでしょうか？

私が住んでいる大阪では、ほとんど雪は積もりませんが、記憶をたどると約30年くらい前に、9センチの積雪がありました。当時私は淀川をまたぐ大きな橋の近くに住んでいました。しんと雪が降る中を仕事場から自宅へと向かっていましたが、いつも増して駅からの片側三車線の道路が大渋滞になっているのに気づきました。何か事故でもあったのかと心配しながらたどり着いた橋の袂で見た光景は、なんと、500メートルもある長い橋の上で、数人の市の職員さんが、竹帚で雪を払いのけている姿でした。雪国の皆さんがご覧になったら竹帚で雪かき？ と目が点になるような情景ですが、除雪機の用意などない大阪では、人力に頼るしかなかったのでしょうか。雪が舞うとふっとあの日の情景が浮かんできます。

1. 併給調整の原則

公的年金には老齢の年金の他に、障害や遺族の年金があります。また、厚生年金もあれば国民年金もあります。いろいろな年金がある中で一人の人に複数の年金を受け取る権利ができた場合、年金の受給はどうなるのでしょうか？

① 支給事由が同一の年金は併給されます

老齢厚生年金	遺族厚生年金	障害厚生年金
老齢基礎年金	遺族基礎年金	障害基礎年金

今回は併給調整についてお話します。

年金の支給については、「一人一年金」の原則があります。公的年金は、国民年金から支給されるものが、老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金の3つ。厚生年金からは、老齢厚生年金、障害厚生年金、遺族厚生年金の3つで、全部で6つの年金があります。この中

で、支給事由（老齢・障害・遺族）の同一のものは、1つの年金とみなされて基礎年金と厚生年金をセットで受け取ること（併給）ができません。

② 支給事由が異なる年金は選択になります。

事例 障害基礎年金を受給している人が65歳に到達して老齢基礎年金の受給権が発生した場合

場合

解説 障害と老齢は支給事由が異なるので両方を受け取ることができません。

そこで金額を比較してみることになるわけですが、60歳未満の方は必ず障害基礎年金の方が高い金額となります。

というのは加入年数に比例して増加する老齢基礎年金と異なり、障害基礎年金は、加入年数に関わらず満額の老齢基礎年金の額（令和4年度77万7800円/年）になるからです。また、この金額は障害の程度が2級の場合であって、障害の程度が重い1級の場合は、1・25倍の金額（同97万2250円）となります。

遺族厚生年金を受給していた人が障害状態になり障害厚生年金の受給権が発生した場合や65歳未満の人に遺族厚生年金と特別支給の老齢厚生年金の受給権が発生した場合は、それぞれの年金額を比較して、どちらか1つの年金を選択することになります。

2. 併給調整の例外

65歳以降になれば、支給事由が異なる年金であつても次の組み合わせは支給されます。

① 遺族厚生年金と老齢基礎年金



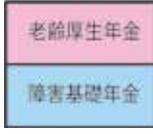
65歳以降は、老齢基礎年金と遺族厚生年金は併給されます。

② 遺族厚生年金と障害基礎年金



障害と遺族は、「障害基礎年金＋遺族厚生年金」の組み合わせに限り、65歳以降は併給されます。「遺族基礎年金＋障害厚生年金」の組み合わせでは併給されません。

③ 老齢厚生年金と障害基礎年金

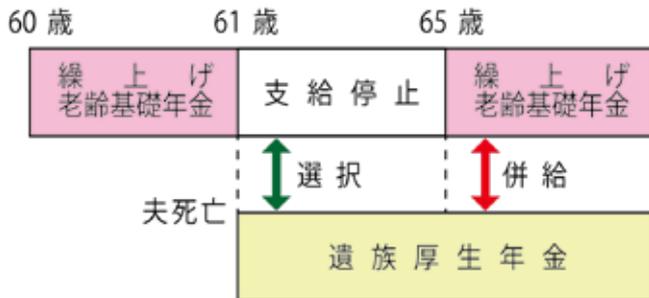


障害と老齢は、「障害基礎年金＋老齢厚生年金」の組み合わせに限り、65歳以降は併給されず。「老齢基礎年金＋障害厚生年金」の組み合わせでは併給されません。

④ 老齢年金を繰り上げて受給していた場合の併給調整

老齢基礎年金を繰り上げて受給をしていた人に、遺族厚生年金の受給権が発生した場合、65

歳になるまではどちらか一方を選択することになります。一般的には、遺族厚生年金を選択することになるケースが多く、せつかく繰り上げたにもかかわらず、老齢基礎年金は65歳まで支給停止となります。こんなことなら繰り上げるのではなかったと思つても、繰上げ受給は取り消すことができません。65歳からは、遺族厚生年金と老齢基礎年金は併給されますが、老齢基礎年金の金額は繰り上げにより減額されたままの額が支給されます。



3. 年金を選択するときの注意点

① 有利な年金の選択について

2つ以上の年金が発生した場合、1つを選択

することになりますが、どの選択が有利になるのかについては、年金事務所へ年金証書、基礎年金番号、マイナンバーカード等を持参して金額の照会をしてください。

② 子がいることによる加算額について

「障害基礎年金＋障害厚生年金」を選択した場合は、障害基礎年金に子の加算があれば老齢厚生年金の子に対する加給年金額は支給停止されます。

③ 遺族厚生年金から差し引く老齢厚生年金相当額について

遺族厚生年金と老齢厚生年金を併給する際の遺族厚生年金の支給額は、遺族厚生年金の額から老齢厚生年金相当額を差し引いた残りの額です。その時に差し引く老齢厚生年金相当額とは、在職老齢年金による支給停止が行われている場合は、支給停止前の金額です。また、基金から代行部分の金額を受給している場合は代行部分も含めた金額になります。

④ 支給事由の異なる2つ以上の年金が発生し、年金の選択が必要になった場合

年金事務所へ「年金受給選択申出書」を提出します。年金の選択の変更は、将来に向かっては自由に行うことができますが、原則遡つての変更はできません。変更手続後の年金は、手続の翌月分からとなります。

「お金がない！ 困ったときに受けられる制度」

第八回 生活保護制度について⑧

社会福祉士・精神保健福祉士 曾波 暁美

家族って何だろう ～令和の家族観～

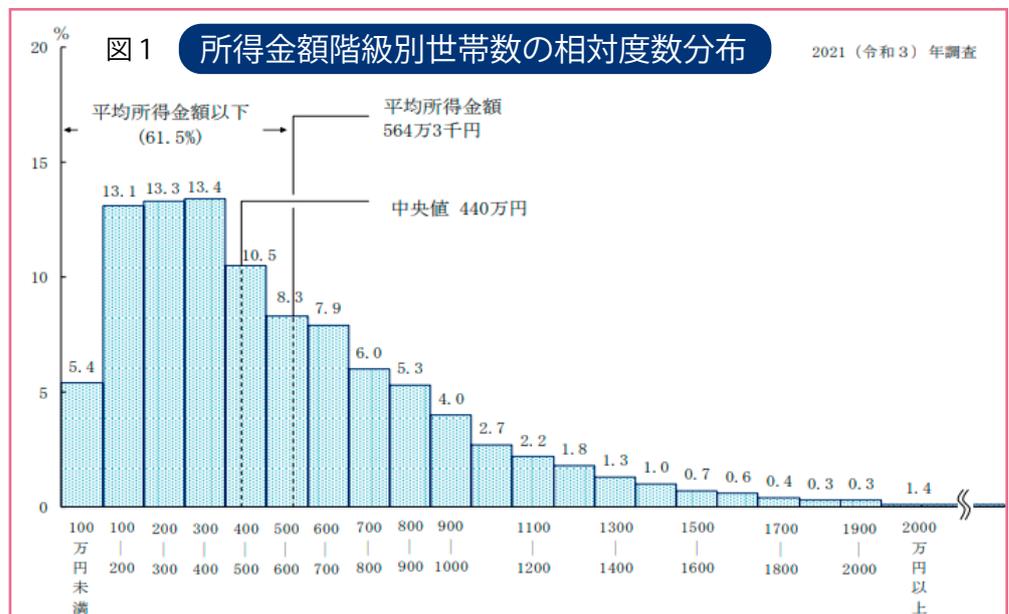
令和 4 年版男女共同参画白書の特集「人生 100 年時代における結婚と家族」家族の姿の変化と課題にどう向き合うか」の中でひとり親世帯や単独世帯の増加など、家族の姿が変化しているにもかかわらず、男女間の賃金格差や働き方の慣行、人々の意識、様々な政策や制度などが、依然として戦後の高度成長期、昭和時代のままとなっていることが指摘されている、云々と続いた後「もはや昭和ではない」と断言されていました。まさにこれなのです。従来の「家族は互いに支えあう」という理屈が経済的に通用しなくなっている今日、家族はどのように支えあえばいいのでしょうか。

図表は 2021 年厚生労働省調査「国民生活基礎調査の概況」より各種世帯の所得状況から抜粋した資料です。2020 年時点の調査ですが、平均所得金額以下の世帯が 61・5% を占め（図 1）、しかも世帯人員一人当たりの平均所得が仕事、子育てとともに現役世代である 50 歳未満と年金生活者が多数を占める 65 歳以上とほぼ変

わりません（図 2）。生活意識も高齢者世帯より児童のいる世帯の方が「大変苦しい」「苦しい」と感じている人が多いのです（図 3）。本来であれば困っている家族を支え合うことが出来れば良いのですが、現在の生活がぎりぎりのところで、もし親が、子が、兄弟姉妹が「お金がない、助けてほしい」と頼ってきたとき、自分の生活を切りつめてまで支えることができのでしょうか。

これは生活保護が申請主義である以上、福祉事務所の職員の立場として好ましくないことでしょうが「生活保護はお金の面は支援できません。それ以外のことは支援に限界があるのでご家族に支援してほしい」と指導したいのです。年金や給与が最低生活費に満たなければ、国はその足りない部分を補填してくれます。病院にかかる必要がある、介護を受ける必要な場合は、各種扶助で対応できます。

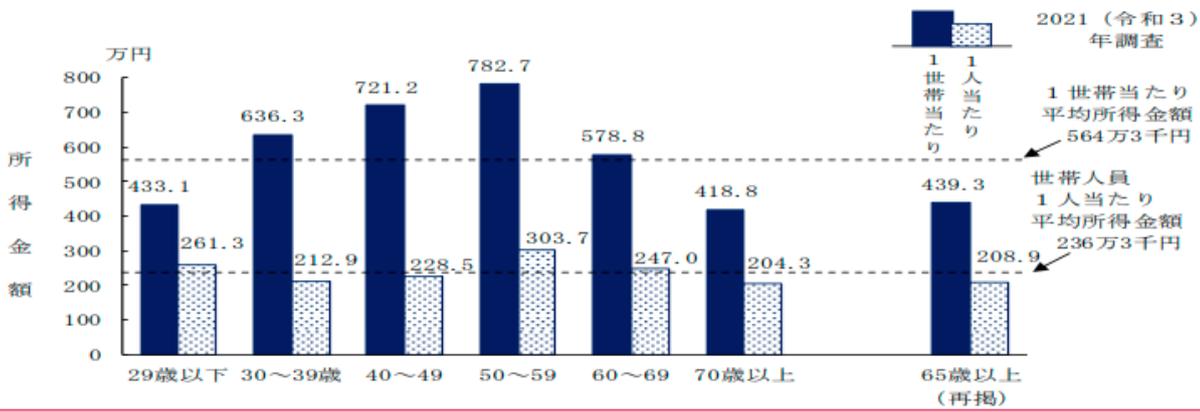
でもご家族にしかできない支援の一例として私が思いつくだけでも、
・入院中の各種医療同意書の記入・治療方針の



説明を聞いたうえで治療に同意するかどうかの判断などです。これがないために必要な手術や治療が受けられない場合があります。

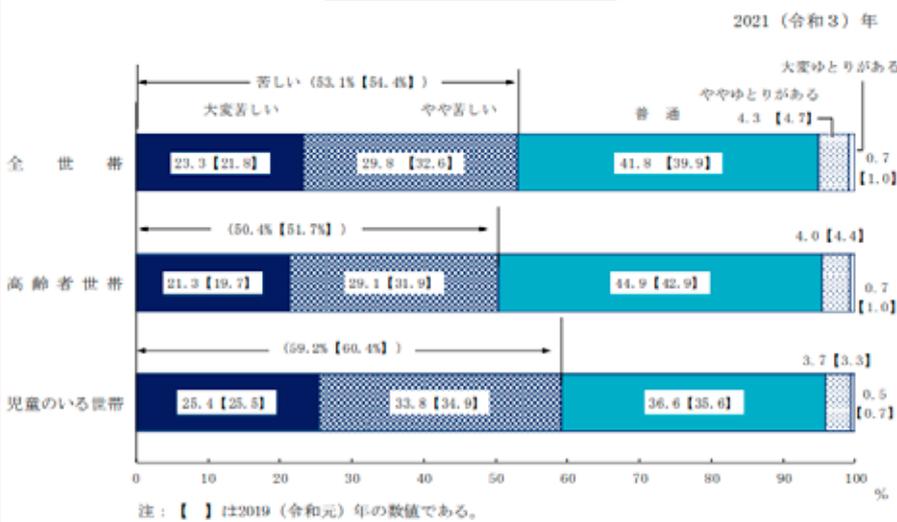
・緊急連絡先・現在は物件の賃貸契約時には保証協会に入会するため保証人は不要とい

図2 世帯主の年齢階級別にみた1世帯当たりー世帯人員1人当たり平均所得金額



う物件が多いですが「緊急事態が起ったときの連絡先」です。保証協会から「緊急連絡先の確認を受けた際、回答しなければなら

図3 各種世帯の生活意識



死後事務…基本的に生活保護は「生きている方の支援」であるため、亡くなった後に支援できることはあまりありません。よく問題になるのが「居住場所の家財処分」です。この費用は保護費から支給されません。遺

りません。その時、家族との関係性が薄い、いない方はこの緊急連絡先が確保できず、家探しに苦労する方が多いのです。

族が本人の口座に残っているお金で処分業者にお願ひするか、最悪どなたもいない場合、大家さんの負担になってしまいます。

・定期的な連絡…実は家族と連絡を取り合っている受給者とそうでない受給者とは、病気などの時の対応に差が出る場合があります。電話で孫の声を聞かせてもらった、それだけで飲酒量が減った、たばこをやめたという依存症の方もいます。このようなことが自立につながることがありますので、短い電話1本でもいいのです。できる限り家族の声を聞かせて下さい。

私が思いつくだけでこれだけあります。生活保護を受けた〓縁の切れ目ではありません。無理のない範囲での支援を扶養届に書いて送り返して下さい。

今年からは年末年始に久しぶりに家族顔を合わせた方も多々あります。自分は困っていないなくても「いろいろ困っているね」というご家族がもらえるかもしれません。数回にわたり生活保護を申請するうえでネックとなる「不動産」と「扶養義務者照会」についてお伝えしましたが、いずれもご家族と密接に係る問題です。これから何か困ったことがあった時にはご家族で話し合ってください。

次回からは実際に生活保護を受けたら生活はどうなるのか、どう変わるのかをQ&A形式でご説明します。

もつと 気軽にワインを  V O I . ①

新たなスタートをきる始まりのワイン

株式会社 光菱 代表取締役会長
ワイン・エキスパート (日本ソムリエ協会)

伊藤 伸也

新しい年が幕を開けましたが、みなさんは、どんなスタートをきりましたか。

「今年こそは、コロナウイルスが収束し良い年にしたい!」と思った人も多かったのではないのでしょうか。

「二年の計は元旦にあり」

新しく迎える一年の目標などは、年の初めである元旦にきちんと立てなさい、何ごとも始めるときに、ちゃんと計画を立てることで、一年が有意義な年になるという意味ですが、いわれとなった説にはいろいろあります。その一つ、戦国武将の毛利元就が1558年に長男の隆元へ宛てた手紙に教訓として書かれたものが、次の言葉です。

一年の計は春にあり

一月の計は朔 (ついたち) にあり

一日の計は鶏鳴 (けいめい) にあり

ちなみに、朔は、その月の初めの日。鶏鳴は、その日の朝、一番鶏が鳴く早朝。新しい一年の

計画は、その年の初めに、月の計画は月の初めの日に、そして、今日の計画は朝早くに立てる、という意味になります。

でも、一年の計画を、まだ、立てられていないという方も多いのでは……。

そういう方も、今年の旧正月 (月歴) が1月22日になりますので、今からでも、まだ間に合いますよ。(笑)

● 祝祭のお酒



さて、1年のスタートのお祝いに欠かせないものがあります。お正月に無病息災や長寿を祝い飲む祝酒「お屠蘇」(おとそ) です。

本来は、普通の日本酒ではなく、5〜10種類の生薬を配合したものを、日本酒やみりんに漬けて込んだお酒になります。最近では、大きなスパークリングワインなど売られているのを見かけるようになりましたが、ちょっとスパイシーな感じで、これも一興ですね。

そして、日本でも多く飲まれるのが、年末のカウントダウンからハッピー・ニューイヤーを祝う泡のお酒、「祝祭のお酒」と言われる「シャンパーニュ」(シャンパン) です。ただし、シャンパーニュ地方でシャンパンの製法で造られたものだけが、シャンパーニュと名乗れますが、それ以外はスパークリングワインと呼ばれます。

もう少し説明を加えると、パリから140kmほど東方に位置するシャンパーニュ地方で、厳格な規定のもと、瓶内二次発酵で造られる発泡性ワインのことを言います。フランスではシャンパーニュと呼びます。「シャンパン」というのは英語読みで、日本ではこちらの方が馴染みやすいのではないのでしょうか。

F1レースを始め、アカデミー賞の表彰式でも、乾杯はシャンパーニュで行われます。昨年末に日本中がサッカー日本代表の活躍に沸いたFIFAワールドカップ。その公式シャンパーニュを務めたのが、「テタンジェ」が手掛けるシャンパーニュ「テタンジェ・ブリュット・レゼルヴ」。2014年のブラジル大会から公式シャンパーニュに認められ、今回のカタール大会のボトルは砂丘をイメージした色とシャンパーニュの泡が施された美しいデザインで、ワールドカップのトロフィーが描かれています。

また、ストックホルムで催される世界で最も権威あるノーベル賞の授賞式、記念晩餐会で供されるのも同様のシャンパーニュです。今回はどんなシャンパーニュが供されるのだろうか、ワイン愛好家には、いつも興味が尽きません。

このように、今では、ほとんどの祝杯に使われ、結婚式やパーティ、家族や仲間たちの記念日、大切な人との会食の機会などでも飲まれるようになりました。

グラスの底から、キラキラと輝く黄金の泡が立ち昇る瞬間は、誰もが胸の高鳴りを覚えるものです。特に、恋人たちのロマンチックなシーンを彩る。大切な時間を演出する飲み物としては、欠かせないものになっていますね。



● 始まりのお酒

スポーツ界の表彰式や祝勝会などで、優勝したチームや表彰台に登った選手同士がシャンパンなどを掛け合ってお祝いする行為のことを、シャンパンファイトと言います。あのナポレオン・ボナパルトがシャンパーニュの泡が勢よく吹き上がる様子が大好きで、戦争勝利の記念に、みんなで掛け合っただのが始まりのようです。

ちなみに、シャンパーニュは「始まりのお酒」とも言われ、処女航海へ向かう船の進水式では、船から支綱と呼ばれるロープを1本のぼし、こ

れにシャンパンを繫ぎます。このロープを関係者の代表が切り、船の誕生を祝います。ロープを切ると瓶が船首に当たって割れ、船は船尾から海に向かってゆっくりと動きだします。五色のテープが舞い、ブラスバンドの演奏も行われる華やかなシーンをテレビのニュースなどでご覧になったことがあるのではないのでしょうか。

本来は、船の「門出」を祝うイメージがありますが、いまでは、いろいろな場面で、始まりを祝う乾杯の飲み物として選ばれています。

● 料理とのマリアージュ

「てんぷらや揚げ物などに、どういうワインを合わせたらいいのでしょうか？」と聞かれることがよくあるのですが、そのときは、迷わず、この泡のワイン、シャンパーニュやスパークリングワインをお薦めしています。泡が脂を包み込んで胃の中へ流し込んでくれるので、口の中がさっぱりし、マリアージュ（相性）抜群です。知らなかった方は、是非、お試しあれ。

このように、ワインは奥が深いというのがわかりますよね。なにせ、紀元前8000年前から造られていた世界最古のお酒ですから……。

ご挨拶が遅くなりましたが、今回から、ワインにまつわる楽しい話を定期的に投稿していく

ことになりました、私、伊藤伸也と申します。もっと気軽にワインを楽しんで頂くために、皆さんの心の扉を少しでも開け、ワインの魅惑の世界へ誘えたらと願っております。

どうぞ、よろしくお願ひします。

さて、そんな伊藤も講師をしているワイン検定「ブロンズクラス」（日本ソムリエ協会主催）が、今年は3月と8月に開催されます。検定となっておりますが、まったく構える必要はありません。ワインの入門編として、家庭でワインを楽しんで頂ける知識を学ぶ内容です。興味をお持ちになりましたら、是非、チャレンジしてみてください。インターネットで「ワイン検定 (<https://www.winekenai.com/>)」サイトからお申し込みできます。ちなみに、伊藤は東京・飯田橋会場を担当しますので、お会いできるのを楽しみにしております。

2023年が倅多き楽しい1年になりますように、みなさんの新たなスタートに乾杯！

伊藤伸也 略歴

郵政省入省。日本郵政グループ社風改革推進室長などを歴任。退社後、会社経営の傍ら、各種講演・セミナー講師、経営コンサルタント、大学講師など、多方面で活躍中。



地球に恩返し of 森づくり事業部では、2009 年より大分県由布市庄内町・地球に恩返し of 森づくりを通して、環境活動や里山保全活動を続けています。今月は、地域未来計画研究センターのカゼム所長（立命館アジア太平洋大学教授）より、恩返し of 森での取り組みをご紹介します。

地球に恩返し of 森における

伝統知識の継承

今年 4 月から 7 月にかけて立命館アジア太平洋大学（APU）で実施したコミュニティ・ベース・ラーニングで学生が研究した内容を紹介します。

地球に恩返し of 森のヤギ小屋を立てる上で必要となる竹林や竹の加工方法などをコミュニティにインタビューや論文などを活用しながら学習を進めました。

今回は、環境管理の視点から紹介しましたので、今回は地域の伝統知識に焦点を当てます。

竹を活用した商品やその特徴

竹は様々な商品や場面で活用されています。今回私たちが作り上げたヤギ小屋以外にも家具、籠、アクセサリ、竹炭、堆肥そしてコスメにまで竹が活用されています。竹には殺菌・消臭効果があり、また耐久性・柔軟性にも優れており、人や環境に

優しい材料として世界中で注目されています。

日本の工芸と文化における竹の役割

日本は木材と竹の豊富な資源を活用して、有用な物と表現力豊かな作品を生み出してきました。佐賀市東名（ひがしみょう）遺跡では、縄文時代早期（約 8000 年前）の編み籠の出土もあります。古事記と日本書紀は、国づくりや文化を知る古代の書物で、竹刀や櫛の魔力を表現しています（注 1）。現存する最古の籠は、奈良の正倉院宝物庫に保管されている仏教の儀式で花を盛つたと考えられるものです。竹は 10 世紀頃の文学作品「竹取物語」でも重要



かぐや姫を籠に入れて育てる翁夫妻。17 世紀末（江戸時代）メトロポリタン美術館蔵

であったことがわかります。15 世紀の茶人たちは、彼らの精神世界の表現において、一見芸術的でないように見える道具を大切にしています。

竹を伐採した後の加工方法

今回私たちは専門家による指導のもとで、小屋を作るために竹を加工する方法を下記の通り学習しました。

- ① 竹の玉切り・竹の伐採後、適度な長さに竹を切り自然乾燥する
- ② 泥を取り除く・竹についている泥を取り除く
- ③ 油抜き・竹が腐ったり、虫に喰われるのを防止し、竹が清潔に保つために油抜きをする
- ④ 自然乾燥・竹を日光にかざし自然乾燥させる

最近の竹の工芸と技術

最近の竹工芸は実用性だけでなく芸術性を付加したものもあります。技術継承のため一般の人でも体験できる工芸の体験プログラムや竹工芸の

技術を学ぶための学校があります。



工芸体験プログラムの様子



工芸学校の様子

伝統知識の重要性およびグループとしての成果

授業を通して、昔の人々が培ってきた環境や竹に関する伝統知識について学習しました。現在竹がどのように加工されたり商品化されているかを地域の方々や専門家から学びました。授業を通して昔の人々は、自然を保全しながら自然資源を身の回りのものに最大限に活用できるように様々な工夫をされてきたことを実感しました。

このようにして、今回私たちがヤギ小屋を作る過程で、人々が培ってきた伝統的な知識を学習できたことを大変ありがたく思います。

(注1) 日本書紀には脛の緒を竹刀で断ち切る場面もありました。ここでは古事記のイザナキが亡きイザナミを追っていった黄泉国でのお話を紹介します。(公益社団法人島根観光連盟HPより)

古事記 イザナキとイザナミ
 <第四章>黄泉国訪問

イザナキ神は、亡き妻に会いたい気持ちが募り、とうとう死者の国である黄泉国までイザナミ神を追って行きました。そして、黄泉の国の御殿の内側にいる妻のイザナミ神に向かって、言いました。「いとしい私の妻よ。私とあなたで作っている国は、まだできあがっていない。どうか、帰ってきておくれ。」しかし、イザナミ神は、「残念です。あなたが早くいらっしゃらないので、私は、黄泉の国で作った食べ物を食べてしまいましたので、もう帰れません。でも、いとしい夫のあなたが来てくださったので帰ろうと思います。黄泉の国の神と相談しましょう。その間、けっして私を見ないでください。」と言って、御殿の奥に入って行ってしまいました。

どのくらい時間が過ぎでしょうか。たいへん長く待ちましたが、イザナミ神は現れません。

待ってられなくなったイザナキ神は、ついに髪の中のみづらにさしていた、くしの歯を一本折って火をともし、御殿の中に入りました。そこで見たイザナミ神の姿には、なんと、イザナミの体にはうじ虫がたかり、頭、胸、腹などには雷神がいました。それを見たイザナキ神は恐れおののき、黄泉の国から逃げ帰ろうとしました。

すると、イザナミ神は、「よくも私に恥をかかせましたね。」と言ってヨモツシコメに、イザナキ神の後を追わせました。イザナキが逃げながら黒つる草でできた髪かざりを投げると、地面に落ちて山ぶどうの木が生まれました。シコメたちが山ぶどうの実をむさぼり食べている間に、イザナキは逃げました。しかし、まだ追いかけてくるので、イザナキ神は、今度は右のみづらにさしていた竹のくしの歯を折って投げると、今度はたけのこが生え、シコメがそれを抜いて食べている間にイザナキはまた逃げました。(後略)

クラス全体で作り上げたヤギ小屋は地域の伝統知識なしでは実現できなく、改めて伝統知識の重要性を感じました。

次回以降もどうぞお楽しみにお待ちしております。

翻訳：桜比良 (Hira Sakura)

「地球に恩返し基金」に寄付をいただき、ありがとうございました

植木 美佐子さん (東京都町田市) 佐山 馨子さん (東京都国立市) 向井 堯さん (東京都板橋区)
 風間 晶恵さん (神奈川県横浜市) 富山 京子さん (埼玉県草加市) 匿名 4 名 50 音順
 小峰 文江さん (東京都町田市) 三船 あけみさん (埼玉県川越市)

※ 2022 年 11 月 1 日～12 月 31 日の期間、11 名の方から寄付をいただきました。
 ※ 匿名 1 名が 1000 ポイントを達成されました。



地球に恩返し運動について

私たちの生命を育ててくれている地球!! このやさしい地球に少しでも恩返しをして、次世代に美しい地球を残しませんか。皆さまのご寄附で「地球に恩返しの森」に植樹ができ、銘板にあなたのお名前が刻まれます。

※ 匿名希望の方は、振込用紙の「通信欄」に「匿名希望」と、ペンネーム希望の方は「ペンネーム」を明記の上「ご依頼人欄」には必ずお名前をご記入ください。

NPO りすシステム
 地球に恩返しの森づくり事業部

地球に恩返し運動本部

連絡先：TEL.03-5215-2383



地球に恩返し
 基金振込先

● 郵便局から振り込む場合
 郵便局口座番号：00140-7-743432
 加入者：地球に恩返し基金

● 他行からゆうちょ銀行に振込む場合
 店名：〇一九 (ゼロイチキユウ)
 種目：当座 口座番号：0743432
 加入者：地球に恩返し基金



新年に考える

22世紀まで、この国日本は、

生き残っているだろうか？

りすシステム 創始者 松島如戒

ウクライナでは正月も関係なく多くの人が亡くなっています。

我が国でも13歳の子どもが親を、親が子を、男女関係のもつれ(?)で男が女性をめった切りにして殺す。こんなニュースが日々飛び込んできます。

そんな中、新年おめでどうございませうなんて、無神経なご挨拶も憚られますが……。今年1年無事で来年の正月を迎えられることを祈りつつ……。

地球と人口、国と人口について考えてみたいと思います。本年もよろしくお付き合い下さいませようお願い申し上げます。

地球人口が100億人になる時

国連の2019年版世界人口推計では、2100年に地球人口は109億人でピークに達するとしています。その時、日本の人口は7364万人との推計があります。

そのことを考えながら現実を見ますと、昨冬

2022年1年間に生まれた子どもの数が77万人台になるとの予測が発表されました。

余談ですが、我が国で戸籍法が制定されたのが1871年(明治4年)で、我が国最初の戸籍を「明治5年戸籍」と呼ぶと法務省の担当の方に教わりました。その翌年1873年(明治6年)の出生数が80・9万人その時生まれた子どもの数よりも、昨年生まれた子どもの数は3万人も少ないのです。1873年の我が国の人口は3340万人。明治維新の1868年から100年後の1967年の間に日本の人口は1億人になりました。

他方、年間出生数が最も多かったのは1949年の269・7万人で2022年の3・5倍の子どもが生まれています。

このような数字に岸田内閣が触発されてかどうかわかりませんが、異次元の少子化対策という政策を打ちだし、目下財源をどうするかでモメています。

岸田おろしというのは菅元首相が口火をきつ

たと言われています。1年前に首相だった人が、次の首相にケチをつけるというのも、あまり品の良い話ではないと思いますが、客観的に見て「岸田さん大丈夫?」という感じですよ。

そもそも日本の政権は米国の手の内にあると言われますが、国家安全保障戦略(NSS)など安保関連3文書は、我が国の憲法9条の平和国家を目指す方向を180度転換する政策を閣議決定したのですから、米国にとっては安倍政権の集団自衛権、つまり米国とともに戦争ができるという安保戦略の仕上げともいえる米国の一体化、いや隷属化をすすめる岸田政権が、米国政府から歓迎されるの当然でしょう。

米国からの武器購入は、昨年度の約4千億円が今年度は3・7倍の1兆4768億円。こんなに買うことを約束をした岸田さんを米国が簡単に手放すわけがない……とも私は思います。

しかし、岸田さんがこれまでの仕事をしてくれば用済み……と岸田おろしに米国が加担しない保証もないのかなと思います。以前、りす倶楽部に書いたことがあると思いますが、日本の政権は日本国民のためにどれだけ良い政治をしたかより、いかに米国のために忠誠を尽くしたかにより、その運命が決まっているのです。

現在米国から寵愛を受けている岸田政権に菅元首相がちよっかいだしても、どうなるものか、

なんとも言えません。

私は日本人としてとても悔しいけれど、これが日米関係の実態だと思っています。

日本の国会議員たちは、この現実を私より遙かに良くご存じのようですが、手も足も出ないのか出さないのか、「なんとかしてくれよ」という思いが私の中で悲鳴をあげています。

話を戻しますと、異次元の少子化対策ってなんでしょうね。「異次元」の金融政策の失敗のついで、物価がどんどん上がり、給料は上がらずで、国民は塗炭の苦しみを味わっているのに、また「異次元」というフレーズはあまりにもセンスが悪すぎじゃありませんか？ 岸田さん。

異次元の少子化対策の3本柱とは何か

この図がわかりやすいのでインターネットから拾ってきました。①経済支援②子育て家庭向けサービス③働き方改革の3本柱だそうです。少子高齢化は1972年のローマ・クラブの報告書からのテーマ。つまり半世紀前から「どうしよう、どうしよう」と口先だけでご利益のない念仏を唱えていたことで、国民は飽き飽きしていますよ。それに対し、図にあるような対策で効き目があるのでしょうか？ 私はゼロとは言いませんが、こんな程度のこと何千億とか何兆円とかお金をかけても無駄なような気がし



日テレニュースより

ます。

今朝(2023年1月13日)の東京新聞にこんな見出しがでていました。日本財団が17〜19歳の若者1000人に実施した「18歳意識調査」から得た回答を集計したものです。

『17〜19歳将来必ず結婚する』16・5%。願望は65%超。精神面・経済面で不安とあります。結婚しなければ子どもは生まれなという訳ではありませんが、我が国の制度では子どもが生まれる前提条件は「結婚」と考えられています。この調査だけでも、65%の人が結婚したいけど、必ず結婚できると思う人は16・5%しかいないのです。

	男	女
1990年	5.57%	4.33%
2000年	12.57	5.82
10年	20.14	10.61
20年※1	28.25	17.81
30年(推計)※2	28.0	18.5

【国立社会保障・人口問題研究所の算出による】
 ※1 配偶関係が不詳の人を補完したデータ
 ※2 18年時点の推計値

50歳時未婚率の推移

次の表は国勢調査の数値から国立社会保障・人口問題研究所が算出したデータを2022年12月30日付の東京新聞が報じています。

この調査で、50歳時未婚率というのは「50歳までに結婚していなければ、これから結婚する人は少ないだろう。さらに結婚して子どもを持つ可能性は低い」を前提とした調査結果です。

同じ調査で、30年前の1990年では男性の5・57%が50歳未婚が、2020年までの30年間で5倍の28%。女性は1990年は4・33%が50歳未婚が、2020年には4・3倍の18・5%。

都道府別の数字では東京は32・15%で、男性の3人の内1人は結婚していない。女性は東京23・79%で4人に1人は結婚していない。

結婚していない理由で深刻なのは精神・経済で不安

結婚していない理由ですが、男性「恋人・パートナーがいらない」「見つからないと思うか

ら」47・3%。「経済的に難しい」23・2%。女性は「1人のほうが精神的負担が少ないから」52・3%。「子どもを育てたいと思っていない」36・9%。「自由を失いたくない」35・1%。自らは結婚したくないが、少子化への危機感「非常に感じる」37・3%。「やや感じる」36・8%。

先の1月13日付けの日本財団「18歳意識調査」のサンプルは、インターネットによること、17〜19歳という若い人々であるというやや特殊なサンプルによる調査というバイアスがかかっていることを加味しても、私自身衝撃を受けました。

まず「結婚したい」43・8%「どちらかと言えばしたい」21・7%を合わせると65・5%の人が結婚したいという気持ちを持っている。

しかし結婚するかどうかについては「必ずずると思う」は16・5%。えっ！結婚願望はあるけど、その実現性を確信している人は、6人に1人しかいない。「多分ずると思う」34・5%を含めると51%になる。

逆の「結婚は絶対にしなと思う」7・0%「多分しなと思う」15・6%。合わせると22・6%で、50歳までに結婚をしていない男性28・0%、女性18・5%にやや等しくなる。

問題は結婚しない理由である。男性の恋人・

パートナーがいない、見つからないが約半数。経済的に難しいが4人に1人。恋人がいない。見つからない。というが見つけようとしているのか否か、見つけようと努力して見つからないのなら、現在流行りの「合コン」など政策的に打つ手があるが、見つけようとしなない人に対して打つ手はない。

女性については、結婚しない理由で「1人のほうが精神的負担が少ないから」は52・3%。関連して2022年9月13日付朝日新聞はこんな見出しで報じています。

「結婚後、子どもを持つべきだ6年で激減」
「女性36・6%、男性55・0%」

結婚しない、したいと思ってもできない。この難関を突破して結婚すること、子どもを持つことは必ずしも同義ではないことが、この調査結果からみてとれます。

結婚したら子どもを持つべきと考えている女性は6年前の同じ調査では66%だったのが、今回の調査では約半分の36・6%に激減しています。男性も75%が55%に減っているのです。子どもを持つか否かの主導権は女性にあると思いますので、女性の60%以上の方が結婚しても子どもを持つべきでないと考えているのは極めて深刻な問題だと思えます。

岸田総理、貴方の異次元の対策というのを拝

見してみると効果がありそうには思えません。異次元の対策なるものは実施しないよりしたほうが良いものもあると評価しますが、成果があるか否かを私なりに自問自答してみると、うーん……としか言いようがありません。

子育て給付は悪い政策ではないし、該当者はラッキーと思えますが、こんなことで子どもが増えるといった簡単な問題ではないことを岸田内閣の政策立案スタッフは心してほしいと思います。

日本財団の調査の続きですが「将来子どもを持つうえで障壁」は、男女とも金銭的負担がトップ。「実施して欲しい少子化対策」は教育無償化がトップ。

これからの時代を担う17〜19歳の若者たちが望んでいるのは、チマチマした少子化対策ではなく、子どもを生んだら「子育ては社会全体で行う」その1つが教育の無償化という選択肢になつていると考えるべきだと思います。

教育の完全無償化にどのくらいのお金が必要か。ネットで探しましたが、きっちりとした数字は見つかりませんでした。1人の子どもが生まれたら、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学の教育費の合計が約2000万円という試算をした人がいました。2022年に生まれた子どもが77万人ですから、全ての子ども

が大学までですむとすれば、年間15兆円くらいかなと見当つけてみました。

財源ですが「未来の日本づくり消費税」で国民の協力を求めるとすれば消費税6%が必要で、防衛費に10兆円かけようという気前の良い国ですから、教育費15兆円くらいは問題なくできるんじゃないか、と私は考えますが、皆さんいかがでしょうか？

防衛費も道具（武器）のことしか考えていないようですが、人殺しに出る兵隊さんはどうするのでしょうか。「人殺し」というフレーズにひっかかる方もおられるかもしれませんが、戦争とは人を殺すことが善なのです。

どんなに不景気で就職難の時でもタクシードライバーと自衛官は募集しています。自衛官は、日本全国津々浦々の街角に自衛官募集の看板が立っています。それでも2022年陸海空自衛官の定員数24万7154人に対し、充足率は93・4%です。これまで自衛隊員は平和憲法によって命の保障がありました、今後は日米共同指揮のもと、戦場に出動が当然となります。

現在1万人が定員割れです。これまで自衛隊をめざす大きなメリットは特殊車両の免許が取れるなどの技術の修得にあるといわれていたのが、戦場に赴くことが主たる仕事となれば、隊員数の低下は否めないと思います。となれば、

その対策は徴兵制度の導入しかありません。

各種の調査では60%くらいの国民が「軍備、軍事費の拡大に賛成」との調査結果だそうですが、我が子、我が孫が他国の戦争で人を殺し、否殺される可能性は大ですよ。そのような覚悟があつての軍事大国化に賛成ですか？

徴兵の話は誰もしませんが、人がいなければ戦争になりません。

過去の我が国の政権は、米国などから金だけでなく血を流せと脅かされても頑として人の命を差し出すことを拒み続けてきました。平和憲法を盾にです。その矜持を岸田さんはかなぐり捨てて米国にすり寄っているのです。

世界の人口は増えているが日本は減っている

世界の総人口は今世紀末まで増加のスピードは落ちながらも増えると推計されていますが、我が国の人口は既に減っていますし、今後確実に減ると推計されています。

「世界の総人口が推計で80億人に達したことを国連人口基金が発表した」と11月16日の新聞各紙に報じられました。

こんな統計があります。表1は世界人口が10億人増えるのに要した年数です。1804年から10億人として20億人になるのに123年を要したのが、それ以降30億人になるのに32年、

40億人には15年、50億人には12年、60億人には12年、70億人には13年、そして80億人になるのは11年だったというものです。

表2は今後の予測で、2022年80億人が90億人になるのに15年、さらに100億人になるのに21年。つまり今から36年後の2058年に世界人口は100億人になるだろうというものです。国連の予測では、今世紀末には109億人となりピークに達する可能性があり、そこから減少に転じる可能性もあっています。各国の研究者からは、世界人口は今世紀末には88億人前後に減少しているだろうと予測する専門家もいます。

2100年まで77年ありますので、本当のことは分かりません。核戦争が起これば、あつという間に人口は減るでしょう。また「人は死なない、という食事や薬が発明されれば、

表1

世界人口の推定値（国連推計）		
到達年	人口	10億人増加に要した年数
1804	10億人	—
1927	20億人	123
1959	30億人	32
1974	40億人	15
1986	50億人	12
1998	60億人	12
2011	70億人	13
2022	80億人	11

表2

世界人口の予測（国連推計）		
到達年	人口	10億人増加に要する年数
2022	80億人	11
2037	90億人	15
2058	100億人	21

100億人を超えるかもしれません。あるいは、地球と同じくらい大きい星が、地球に衝突することがあれば「人」という生き物はこの世から消えることになるかもしれません。昔の人は言いました「この世は一寸先は闇だ」と。

日本の人口のピークと減少

我が国の人口は1985年に1億2000万人台になり2010年に1億2805万人をピークに、それ以降毎年減少し、2020年には1億2614万人まで減少しました。2022年以降の推計はグラフ(表3A、表3B)の通りで、21世紀末には7364万人となると予測されています。あくまで推計ですが、この数値を下回るとみられています。

表4のグラフは2011年に「国土の長期展望」中間とりまとめの資料として作成されたもので、我が国の人口は21世紀初頭をピークに明治維新当時の3330万人が21世紀末の2100年には3700万人(低位推計の場合)という推計値がでています。

表5は世界の人口ランキングで、日本は11位ですが、表6は2017年と2100年の変化をグラフ化したものです。我が国は、この統計では2100年には38位となっていますが、これから80年も先のことから、どうなるか全

く分かりません。

現実とはいえませんが、19世紀半ばの1868年の人口3330万人が21世紀初頭に3・8倍の1億2693万人にまで増加したものが、100年で元の3770万人に戻るとい

う統計があることです。これらの数字遊びから、人口が増えた減ったで一喜一憂することの意味を考えてみたいと思います。そうは言っても、日本では、毎年人が150万人ほど死亡し、生まれる子は70〜80万人ということは、これから毎年70〜80万人が減る社会をどのように運営していくかが問題だと思えます。

21世紀末まで展望してみる

右を向いても左を見ても、この国の未来は絶望しかないと思います。

表3Aの高齢者(65歳以上)1人を現役(15〜64歳)何人で支えれば良いかを計算してみました。結果は、2020年1・98人。約2人で1人を支えています。80年先には1人の高齢者と子どもを1・00人で支えなければならぬこととなります。

現在すべての統計が64歳までを現役世代、65歳以上を高齢者としています。高齢者を現役が支える訳ですが、実は14歳未満の子どもを支えら

れる側にカウントしなければなりませんので、現役3687万人で高齢者2850万プラス子ども827万人の合計で3677万人。支える人数と支えられる人数はほぼイコールです。どう考えてもこのような人口バランスで社会は成り立ちません。といってしまつては、話はこれでおしまい。それでは困ります。

そこで、私自身この数字を出しながらこんなことを考えました。その1つが現役世代「15〜64歳」とした定義を、高齢者は75歳以上と再定義したらどうなるかについて、国連統計を元に安曇野編集部で作成しました(表3B)。

現役世代を74歳までとすると、現役世代は4562万人対し、高齢者1975万人プラス子ども827万人イコール2802万人となり、4562万人の現役世代で2802万人の高齢者と子ども1人を1・63人で支えることとなります。

仮説は良しとして、74歳まで年金はなく働けるか……。難しいと思いますが、私は秘策を考

えましたので、後に述べていきます。この作業は物事の考え方を固定的に考えていては異次元の発想など出てきません。頭の体操としてご覧ください。

昔から、政治家を志す者は、国家100年の計を語れと言われますが、岸田さんはじめ日

表3A

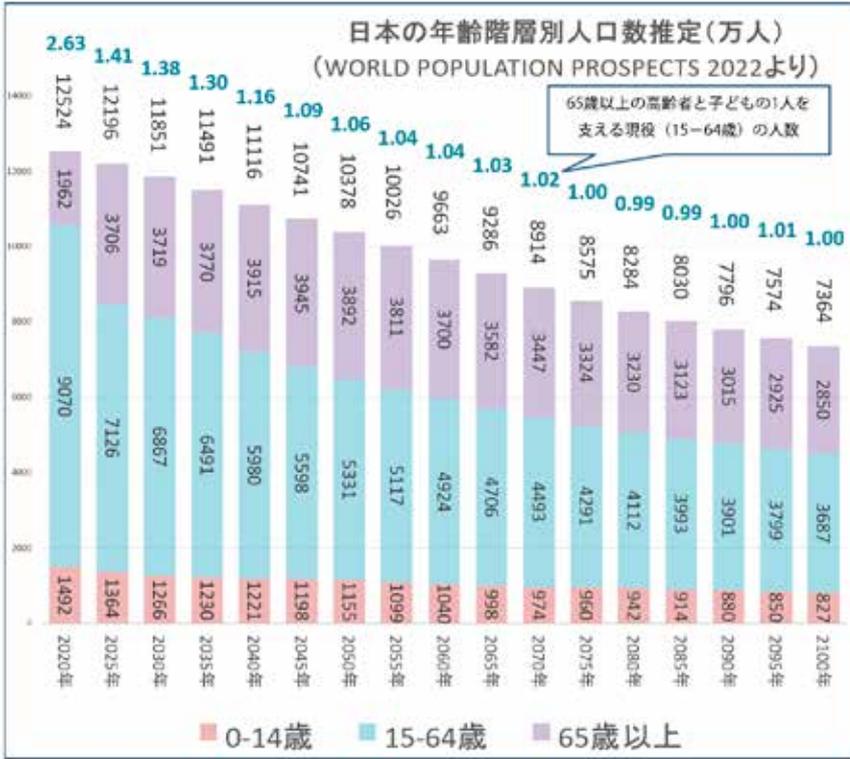
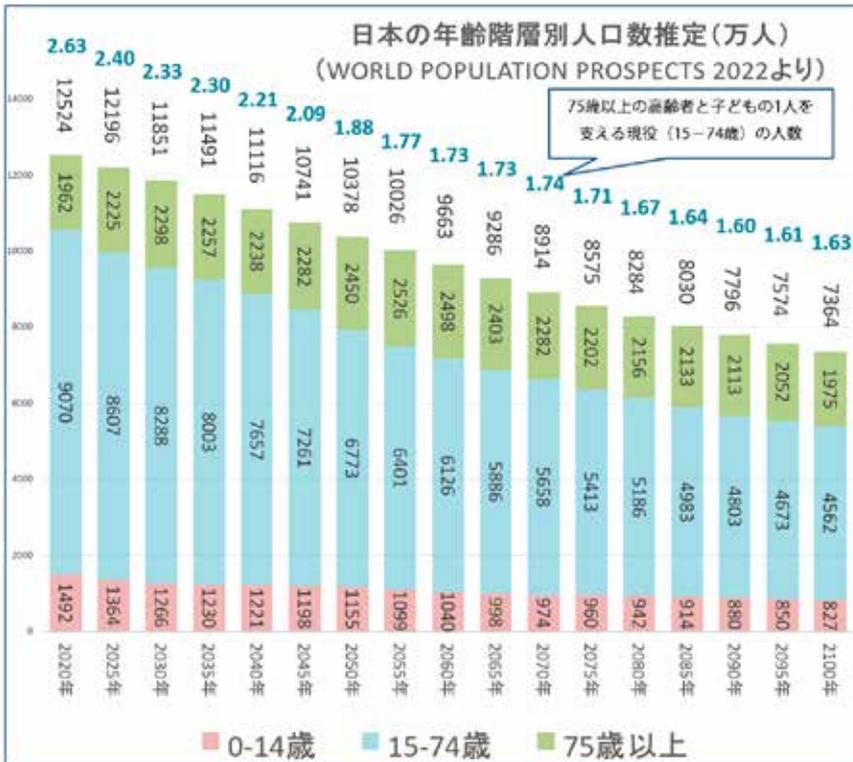


表3B



りす倶楽部安曇野編集部

本の未来100年だけでなく、世界の否宇宙の100年後を視野に入れて「今」どうするかについての政策を語る政治家が今の日本には皆無であると言っている良いことが、国民の一人一人の不幸の源泉であると言っています。

こんなことを言っている人たちがいます。「民主主義社会で政治家が良くないのは、それを選ぶ市民・国民のレベルが低いからだ……」と。至極ごもつともです。私自身がレベルの低い

国民の1人であることに反省をしながら色々なことを考えています。

如戒の診説を開陳

ここまで書き進んで、ふと考えました。ここでは人口(人)のことだけを考えて来ましたが、明日にでも富士山の大爆発まで行かなくても、今年には1923年の関東大震災から100年、震度9ぐらいの大地震で死者3000万人とい

った天災が絶対に起こらないということは誰にも保障できません。

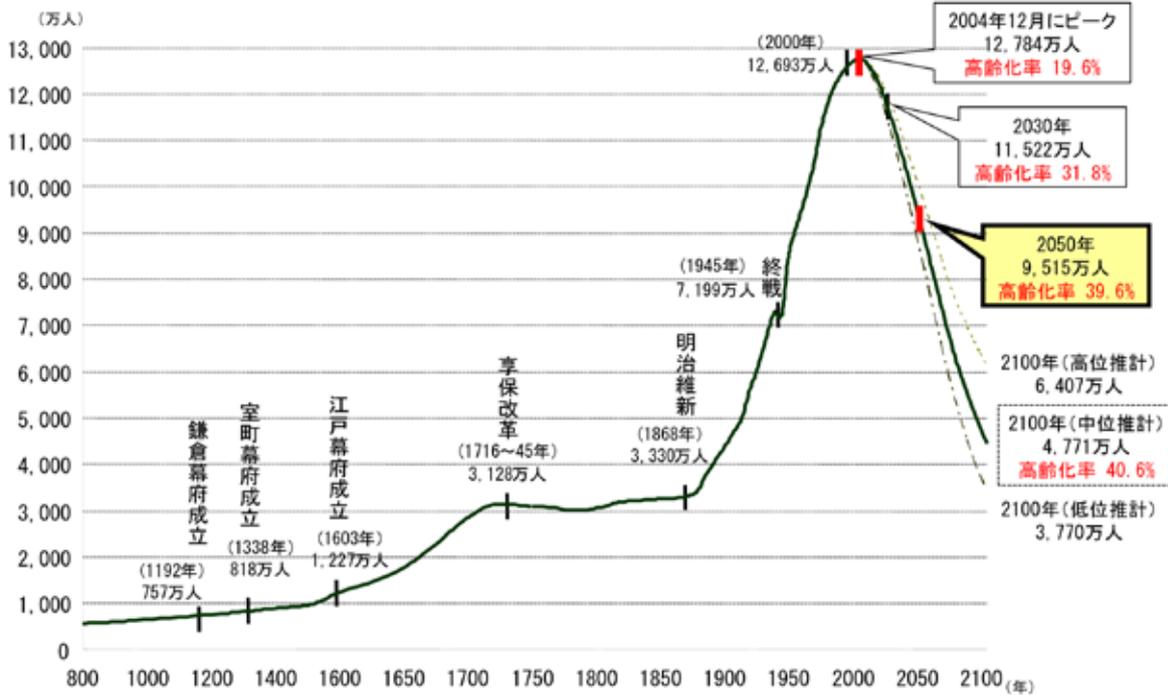
日本全国の原発のすべてがテロにより全滅した、などなどの災害が起こったとすれば、次の世紀80年後の人口問題の議論をすることなど、ナンセンスと言っても良いかもしれません。しかし、それはそれとして、日本人は全て何らかの方法で労働に従事して自分の命は自分の責任で生き続けるにはどうすればよいか……です。

表4

我が国における総人口の長期的推移



○ 我が国の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少。



出典:「国土の長期展望」中間とりまとめ 概要(平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会)

表5

世界人口ランキング (2022年国連)

順位	国名	人口
1位	中国	14億4,850万人
2位	インド	14億660万人
3位	アメリカ	3億3,480万人
4位	インドネシア	2億7,910万人
5位	パキスタン	2億2,950万人
6位	ナイジェリア	2億1,670万人
7位	ブラジル	2億1,540万人
8位	バングラデシュ	1億6,790万人
9位	ロシア	1億4,580万人
10位	メキシコ	1億3,160万人
11位	日本	1億2,560万人
12位	エチオピア	1億2,080万人
13位	フィリピン	1億1,250万人
14位	エジプト	1億600万人
15位	ベトナム	9,900万人

表6

2100年における世界の人口トップ10の予測

2017年		→	2100年	
1位	中国 14億人	→	1位	インド 10億9000万人
2位	インド 13億8000万人	→	2位	ナイジェリア 7億9100万人
3位	米国 3億2500万人	→	3位	中国 7億3200万人
4位	インドネシア 2億5800万人	→	4位	米国 3億3600万人
5位	パキスタン 2億1400万人	→	5位	パキスタン 2億4800万人
6位	ブラジル 2億1200万人	→	6位	コンゴ民主共和国 2億4600万人
7位	ナイジェリア 2億600万人	→	7位	インドネシア 2億2900万人
8位	バングラデシュ 1億5700万人	→	8位	エチオピア 2億2300万人
9位	ロシア 1億4600万人	→	9位	エジプト 1億9900万人
10位	日本 1億2800万人	→	10位	タンザニア 1億8600万人
13位	エチオピア 1億300万人	→	13位	ブラジル 1億6500万人
14位	エジプト 9600万人	→	19位	ロシア 1億600万人
18位	コンゴ民主共和国 8100万人	→	25位	バングラデシュ 8100万人
24位	タンザニア 5400万人	→	38位	日本 8000万人

(出典: 米国ワシントン大学保健指標・保健評価研究所の研究チームの人口推計)

(出典 AERA)

①加齢とともに訪れる衰えを補う

私は85歳を超えた今、周りの人々の助けを受け働いています。まずこの年齢で、活動が出来るのは、様々な境遇とチャンスそしてメンテナンスしながらでも健康に恵まれているから、だと感謝しています。といつつ、総合的な体力の減退は明らかです。さらに持久力の減退も著しいです。

脳の働きも衰えています。日々悩み抜いて未来志向で考え続けていることでもまああです。考えたり思いついたりしたことを直ちにメモを取ることが億劫になり、せつかく良いことを考えても忘れてしまえば思い出すのに苦労します。

これら80年以上酷使した肉体の経年劣化を補う方法はないものかと長年模索していたところ、すごい人たちに会うことが出来たためその糸口がつかめそうなのです。

その手法をこれから紹介しますので、ぜひお仲間になってください。

②人工知能(AI)とロボット

一昨年の秋、TNCというIT専門集団と出会いました。そのボスは八塚昌明さんという方で、彼から多くのことを学ぶと同時に生前契約の無人才フィス化という命題の解決に協力して

いただいています。

具体的には、りすシステムはコールセンターとして全国の支部、九段、新木場などの電話を一括管理し、日々利用者の皆様からのサポートの受付、人の手配などを人力で行っていますが、とても効率が悪くコストも非常に多くかかっていますので、この自動化を進めています。

このシステムが稼働しますと、現在パートナ制度の整備を進めていますが、利用者の皆さんは必要なサービスをマッチングシステムで検索し、サービスの提供を受けられるようになります。

パートナー研修プログラムの履修はeラーニングシステムが既に完成し、北海道、四国、九州、日本中どこからでもアクセスして研修を受講していただいております。

私としての優先順位は、会計を含む事務のシステム化です。その他の音声認識システムによるサービス記録などへの記帳システムなども開発中です。

2002年当時、構築したデータベースも、更新時期がすでに過ぎていきますので、最新技術であるブロックチェーンシステムの導入を視野に入れて企画設計段階に入っています。

以上のような開発を効率的に進める、基本的な技術開発を進めています。この技術によ

り「パーソナルAI」という、先に述べた経年劣化した頭脳や、身体機能のアシストシステムの開発が一段と加速されようとしています。100人100通りの「パーソナルAI」の実現が中期目標です。具体的ことは今後お知らせする予定ですが、うんと簡単に言えば、人工知能のコンパクト化です。

1966年〜1970年代のコンピューターはオフィスコンピューターの時代から、今日はパーソナルコンピューター(パソコン)が主流になり、ミニコンの時代が到来しています。

人工知能もクラウドという技術により「パーソナルAI」の技術の先取を試みているのです。このような発想は視力に障害のある方々に音声によってAIに学習させるプログラムからヒントを得たものです。

③ロボットの躯体はショップでレンタル

クラウドというのは、「技術」といってよいのか「概念」と言っても良いのか素人の私には良く分かりませんが、20世紀の終わりに提唱された考え方のようです。ある種の革命だと思っています。

従来の情報の保管は、自分の研究室なりオフィスにハードな装置を設置、その中に情報をためておいて、必要な時にその情報を取り出すという仕組みでした。

クラウドは、「インターネットから『決められた領域』を構築し、そこに必要な全ての情報をストックしておき、必要な時にはインターネット経由で決められた領域にアクセスして活用する」というものらしいです。

「パーソナルAI」というシステムが成立可能となるのは、自らのデバイス（頭脳）内に情報を溜めておく必要がないので、どれだけ大きな情報量であっても「送受信装置」（スマホなど）さえあれば高度で複雑な計算や記憶が極めて簡単に、短時間でその結果が手元に得られることとなります。

次なる課題は、クラウド上にあるAIに必要な情報を学習させるシステムです。私たちが現在開発しようとしているのは、例えば私、松島如戒の「アバター如戒II」を365日24時間手許に置くことで、非常に綿密な情報を学習させるシステムです。したがって松島如戒に瓜二つのアバターIIの構築が可能となるのです。

例えば、私がこの世の中に生きている間の完成を想定していますが、ある一定時間（2〜3年）松島如戒本人と生活を共にすることで、アバターが松島如戒になりきってしまうのです。したがって完成すれば、私が完全に認知機能を喪失しても、アバターIIが私に成り代わって仕事も勉強も遊びもできるようにするというのが

目標です。以上は、生身の人間でいえば神経や脳の部分です。

これでアバターIIが命令を下した際「左足を出し、次は右足を」という物理的なサポートする機能が必要になります。

その担い手が、ロボットです。従って、現在私たち人間が、レンタカーシヨップで車を借りるように、シヨップでロボットのボディを借りればよいのです。

このような仕組みの基礎部分は、5年で完成する予定ですので、この装置が完成すれば74歳まで現役で仕事ができるという寸法です。

1つ問題といえるかどうか分かりませんが「パーソナルAI」君は、学習したことは忘れませんので、松島如戒より賢くなり新しい「ライフスタイル」を独自に創造する可能性があります。これから先は倫理の問題になります。最後に繰り返しますが、こんなことが具体的に可能になるのはクラウドのお陰だと私は思っています。

因みにクラウドについて1997年に最初に提唱されたのは、南カリフォルニア大学のラムナト・チェラツパ教授です。このこととは全く無関係ですが、同年の7月に、私は「サイバーストーン インターネット上の『墓』革命」という著書を出版しました。絶版になりましたの

で、復刻版の出版も考えています。

9年後の2006年カリフォルニアで開催されていた「サーチエンジン戦略会議」で当時のGoogleのCEOであったエリック・エマートン・シュミットがクラウドというコンセプトに触れたそうです。

このような歴史を持つクラウドが具体化したのは比較的最近のことのようです。

人口が減っても心配ない？

心配がないかどうか断言はできませんがAIロボットが活躍できるようになれば、人が減ってもその時、その時、地球に残っている人々とって、さほど心配ないと思いますので、今年も人生を謳歌しましょう。

300年後にホモサピエンスって地球上に存在しているかどうか分かりませんが、こんなことの解明にチャレンジすることに、皆さんは興味ありませんか？ AIロボットなどの実用化がすすめば、ホモサピエンスの生殖意欲はどんどん低下するでしょうし……どうなりますか興味深々です。



支部・パーティー活動記

西日本支部

▼2007年に入会されたSさん（84歳・女性）は、自宅での一人暮らしですが持病があり支部には来所できないので、出張説明のため自宅に伺いました。契約締結まで何度も電話でやり取りし印鑑を間違うなどハプニングもありましたが、無事に公正証書の作成を終えました。

2020年までは確認シートも必ず送りがえされ「何とか元気にやっております」と返事を頂いたので、昨年は確認シートが返信されず、今年9月になって地域包括センターの相談員から連絡がありました。「4年前からS様は、こちらで担当してますが、少し物忘れがひどくなつてので、今後、要支援1から要支援2へ変更があるかも」とのこと。これからは、りすに連絡をしてもらうことにしました。

その2週間後に病院の地域連携室より「今朝、喘息の発作で救急搬送され入院となったので、入院手続き

に来て欲しい」とのことでした。スタッフが病院へ駆けつけ手続きしました。入院中、体調は快復にむかっただのですが、物忘れがひどく自宅に戻ることは難しい状態になったので施設入居しました。

何度か施設での面会が許され、ご自宅の片づけをすることになりました。企画書に「日用品は近隣の方に差し上げて下さい」となっていたので、その方にご挨拶すると「聞いております」と仰つたので見てもらうと、結構な量の日用品が押し入れの中からどんどん出てきました。その方は「頂く物は買い物かご2ヶぐら位と思つたのに」とぼそつと言われましたが、1店舗のお店が出来るほど沢山の日用品が出てきました。「ご近所の方々に差し上げるから」と全て受け取って下さいました。片付けの日「皆さん喜ばれてました」と言われホッとしました。

施設に書類を届けるため面会も許され「日用品をお渡ししましたよ」とSさんに報告すると「少なかつた

でしょ。もっと用意しとけばよかったわね」と仰つたので、驚きとあんなに沢山購入されたことを忘れてしまつていたんだと思いました。

それからSさんの銀行で通帳記入をすると全て記帳されていたので、窓口で確認するとキャッシュカードと通帳をご自身で止めていたことがわかりました。支店長から「一番早く再開するにはご本人様が銀行の窓口に来てもらうのが良い」といわれたので、年明けに外出許可をもらい銀行への同行サポートをすることになっていきます。

思えば沢山購入したり、大切なものを紛失したり、だいぶ前から物忘れが酷く、自宅での生活が難しかったことが解りました。現在施設に入居し施設の方々が見守って下さつてますので安心です。

自宅住まいで、地域の方々と関わりを持たずに暮らしている方に対し、地域包括支援センターと連携を取るなどの対策をすすめたいと思つてます。

九州支部

▼先の見えないコロナ禍、年末ぎりぎりに退院、ホームに戻った利用者

の他に、入院治療中の利用者が7名おられます。

年末年始、緊急コールセンターへいつ連絡が入るか分からない状況の中、2人の経緯と現状報告です。

▼鹿児島県在住のHさん（88歳・女性）は、12年前に東京本部で契約され、1年程前に親戚がいる鹿児島県内の住宅型有料老人ホームに転居されました。

当初、サポートは必要ないとのことでしたが、去年の秋、転倒されて骨折、入院治療中、肝硬変がステージ3と診断されたため転院。成功率は30～50%でしたが、本人の強い希望で手術されました。快方に向かつていたところ、部屋で転倒し頭を打ち15針も縫う手術、意識朦朧の状態が続いていたようです。

12月半ば過ぎ、ホームの相談員から今後のことを打ち合せたいと連絡があり、支部で対応することになりました。介護5で訪問診療・訪問看護を利用しながら自室での生活です。貴重品は金庫に保管中。12月末コロナに感染されましたが、受入病院がなく自室療養となりました。年明けコロナ待機が終了し、ホーム

と今後の対応について綿密に打ち合
せているところです。

▼福岡市在住Yさん（91歳・男性）
は、15年前に契約されました。明
い方で行事には良く参加され、皆さ
んと和気あいあいと歓談されていま
した。

コロナ禍で行事がなくなり、皆
さんに会えないのは寂しいですと、
時々お電話で話をして「1年位前か
ら入退院を繰り返すようになった」
と言っておられました。身元引受人
は近くに住む妹さんですので、りす
システムの出番はありませんでし
た。ところが、去年11月弟さんから、
兄が入院したので今後のことを願
いしたいと連絡が入りました。事務
所に貴重品等持参され事情をお聴き
しました。これまでごきょうだいの
ことは一切情報がなく、日頃のお世
話をしておられた妹さんも入院中
で対応不可とのこと、回り回って弟さ
んの出番となったそうです。

年末、主治医の病状説明・入院費
支払のため病院へ。面会禁止でした
が、主治医の許可を得て（最期にな
るかもしれない）時短面会。一瞬
マスクを外してご挨拶、表情に変化

がありました。

年末年始は急変の可能性大と説明
を受けていましたが、年明けの現在
快方に向かつており病棟が変わりま
すと連絡がありました。今後自宅に
戻ることは困難で、特別養護老人ホ
ームへの入居を目標に、リハビリを
がんばっていただきたいと思ってい
ます。

パートナー 山下 智弘

八王子にお住いのTさんは、静
岡県掛川市にご主人が建てた先祖
代々のお墓がありました。

「主人はいずれ掛川市に戻る予定
でしたが他界し、近くの永代供養付
きの納骨堂を契約し安置しています。
お墓のことはずっと悩んでいまし
た。そんな時、りす倶楽部の墓じま
いの活動記を読んで、問い合せてみ
ました」とのこと。

訪問し話を聞きますと、掛川市
のお墓には先祖の遺骨が16体あるよ
うですが、ご主人が全てやっていた
ため、実際には何体入っているのか
分からないとのことでした。

「先祖はみな掛川の方々なので、
管理しているお寺に永代供養をして

欲しい」とのご希望。改葬手続きの
代行、お寺との永代供養交渉、墓所
の解体工事の依頼を受けました。

まず掛川市のお墓を確認にい
くと、納骨室いっぱい骨壺が……本
当に16体入っていました。その後お
寺と交渉し、お寺の永代供養墓へ16
体の遺骨と永代供養法要を含めて
20万円でお願いました。改葬許可
手続きも終え、後日Tさんの代理と
して法要に立ち会い、遺骨を納骨し

墓石の解体工事を行いました。Tさ
んからは「ずっと悩んでいたことが
解決できてよかった、ありがとうご
ざいます。これでやつと安心できま
した」と喜んで下さいました。お手
伝い出来て本当によかったです。

墓じまいのご依頼は全国承ってお
りますので、お悩みの方はコールセ
ンターまでお問い合わせください。

パートナー 小島 修

▼「早く逝きたいです」近年、奥様
を亡くされた男性。「長生きはした
くないわ」若い頃、大きな不幸に見
舞われた女性。利用者さんから、時々
聞く言葉です。

3年にわたるコロナ。面会禁止、

外出自粛など施設や自宅での窮屈な
暮らし。施設では時に食堂使用不可、
自室で日に3度の配膳食が続きスト
レスがたまる一方。

サポートの時、心掛けたと思っ
ています。皆さんにつかの間でもい
い、笑顔と癒やしの時間を持つてい
ただきたいと。そのためには、自分
自身がいつも笑顔で明るく元気でい
ること。

長引くコロナ禍でもストレスに無
縁の方がいます。91歳女性。14年前
から短歌の会に参加。月に7首の短
歌を投稿しています。昨秋、ご迷惑
を顧みず弟子入りさせて頂いたさま
でした。

満ち足りし、心で長き 帰途につく
孫と過ごせし 後のさみしさ

恥ずかしながら、自作の短歌です。
月に一度、電車で片道2時間、孫た
ちに会いに行きます。パンデミック
もそろそろ終わる頃かな？ と願う
新年です。



コラム

その武器は、本当に必要ですか？

私は気の重い正月を迎えましたが、皆様どのような新年をお過ごしでしょうか。気の重いのは、ウクライナの戦争です。開戦からまもなく1年になります。戦争はいったん始めると止めるのは難しいものと言われますけど、本当に何時、どんな形で戦争が終わりウクライナの人々に平和で安穏な暮らしが戻るのでしょうか。

私たち個人になにが出来るとはありませんが、日本国として戦争を終わらせることに何かできないのか。戦争が始まった頃、安倍晋三氏がロシアへ行ってプーチン大統領に「侵攻を止めろよ」と説得すべしと、このコラムで主張しましたが「言い損」になりました。

こんな計算をした人がいます。世界の人口で「ロシア制裁にためらっている人が半分いる」というのです。その半面、NATOは軍事同盟で加盟国の戦争は自国の戦争というNATOのルールがあり、武器の拠出を続けています。さすがに、我が国は戦争の支援はしていませんが、経済制裁という一種の参戦をしていることから心情的には参戦国といって良いと思います。

ウクライナの戦争を終わらせる方法は？ と仲間で議論したことがあります。その時のメンバーの1人の「西側諸国が武器の拠出を止めれば戦争は終わる」との発言を複雑な思いで聞きました。1年足らずの戦争で、どのくらいの「人」が犠牲になったか調べました。良くわかりませんが両軍（国）それぞれ10万人くらいの「人」が負傷したり死亡したのは事実だと思います。

台湾有事といって、今にも戦争が始まるかのように騒ぎたてていますが、メディアの自粛を求めたいと思います。10年ほど前に伊藤忠商事の会長などを歴任した丹羽宇一郎さんが中国大使をおつとめになられたのですが、その丹羽さんが日刊ゲンダイ 2022年2月18日号のインタビュー記事で、副主席時代の習近平さんの発言を次のように紹介しておられます。「住所変更はできませんよ。これから何百年も、隣国としてお付き合いしていくのです」と。私は、この発言に感銘を受けると同時に大賛成です。

国だけでなく個人同士でも、隣同士は何かともめごとの種があり、争いが絶えないものです。この記事の中で丹羽さんは「米中対立は茶番劇、乗っかってはいけない」「米国は中国との戦争に勝てないことは分かったうえで米国の威信のために……」と発言しています。私も米国と中国が本気で戦争することはまずありえないと思っています。

尖閣問題でも、米国が本格介入するのは本国の国内世論上も、そう簡単なことではなさそうです。また、丹羽さんは、「我々は武器を持てば持つほどに、武器を使いたくなるものです」とも言っています。とにかく武器を持たないことこそが国の平和、国民の安心なのです。日中米は経済的に大きな結びつきによって成り立っているのに、戦争なんかできっこないと思うのが常識的な判断ではないでしょうか。

何より我が国としては、米中の本格的戦争になれば、日本列島なんて雲消霧散するだけでなく、世界中否地球が滅亡することにもなります。

多少の飛躍があるかもしれませんが、国会での議論もほとんどなく防衛力整備計画が決まり防衛予算は前年度の1.2倍で6.8兆円。さらに2023年からは5年間で43兆円が決まりました。ということは、初年度が6.8兆円ですから、次年度以降は約9兆円。あれだこれだと理由をつけ数年後には日本は防衛費10兆円という押しも押されぬ軍事大国となります。

敵基地攻撃能力とは何をいうのでしょうか。先日、新聞が次のようにまとめています。「やむを得ない必要最小限度の自衛の措置として、相手の領域において、我が国が有効な反撃を加える」

「攻撃能力」といっていたのを「反撃能力」に言い換えたのですが、相手からの攻撃を受ける前に相手国に打ち込めるミサイルを配備するというのは、反撃ではなく事実上の先制攻撃ではないのでしょうか。丹羽さんは、前述のインタビューで前にも引用しましたが重ねて「我々は武器を持てば持つほどに、武器を使いたくなるものです。良いおもちゃを持つと、それで遊びたくなる子どもと一緒に」と言っています。蓋し名言だと思います。武器などという危なっかしい道具はもっちゃいけないのです。

私たちは75年前に武器を持たない、使わないと憲法で誓ったじゃないですか。そんな我々の国がですよ、為替レートにもよりますが、インドも抜いて1位米国、2位中国に次ぐ世界第3位の軍事大国に日本はなろうとしているのです。今なら止められます、予算は国会の議決を得ていないのですから……。

止めましょう、子や孫の世代に後悔を遺さないためにも、今が正念場です。

(松島如戒)

編集後記



皆様、明けましておめでとござ
います。

元旦の朝「ピンポン♪」ドア
を開けると初日に照らされた玉じ
いがプルプル震えて立っています。

「婆さんが……酒呑んでガブガブ
呑んで……いない……」

びっくりして行ってみるとフクは
あが不機嫌な顔で座っていました。

この顛末は、元旦なので夫婦でお屠
蘇をと思い、日本酒を注いでいたら玉じ
いが「この大酒飲みが！」と怒鳴りつけ
たらしい。腹を立てたフクはあが一升瓶
を流しにぶちまけそのまま犬の散歩に出
ていたとのこと。何はともあれ夫婦喧嘩
ができるくらい元気で良かった。今年も
宜しく願います。※フクはあ(母)
玉じい(父)
(芳賀みゆき)



あけましておめでとございます。

「一月往ぬる 二月逃げる 三月去る」
とはよく言ったもの。一月もあつという
間に過ぎ去ってしまいました。

大人になると時間の流れが早く感

じるようになるのは「人生にトキメキが
なくなったから」と某テレビ局(チコ
ちゃん)が言っていました。

コロナだし面倒だし……と出不精が続
いていましたが今年は飛躍の卯年。新し
いことや初めての場所にいろいろ挑戦し
たいと思います。
(芳賀ま
お)

あけましておめでとございます。

年の初めには「今年は令和何年だっ
け？」とあやふやになりがちです。イン
ターネットで見つけたものを紹介いたし
ます。令和を数字で表してみると
「018」です。そして、今年の西暦を
思い出してください。そう、2023年
ですね。では、2023の下2桁の
「23」から018の下2桁の「18」を引
いてみてください。23引くことの18で、
答えは「5」となります。これが今年の
元号の年です。元号を決めた5年前にこ
こまで考えられていた、なんてことはな
いでしょうし、お気づきになった方の洞
察力はすばらしいですね。

◆ニユースで大学入学共通テストを告げ
ていました。長男は4月から高校3年生。

そろそろ進路を本気で考える時期に
なってきました。が、とにかく好奇心が

あちらこちらに飛びまくり、1つの方向
性が定まらない。文系コースに進んだも
の「理系コースに変更したい」とか「海
外の大学に行きたい」と。留学はきつと
いい経験になると思うので、希望は叶え
てやりたいが、実際のところどうしたら
いいんでしょうね？ほんと、子どもに
まつわるタスクは次から次へと形を変え
てやってきて、困っちゃいます。で、困
ったときには「何かをしながら頭を整理
しよう！」と、家計の味方の豚ひき肉を
大量に買い込み、シウマイ80個作りま
した！ 大判焼き作りにはまっていたと
きに勢いで購入した「あんべら」が大活
躍。シウマイ作りが思いのほかはかど
り、その後ついでに餃子も50個。トレー
に並べてラップして冷凍庫にいれてスト
ックまで作って、もう大満足。で、問題
の困りごとの方は……「健康であれば知
恵も湧く、なんとかなる！」ということ
で「もりもり食べて頑張っていこう」と
いうことにしました。解決感ゼロの結論
でしたが、ひとまず問題の先送り

NPO りすシステム

0120-889-443

りすセンター・新木場

0120-373-959